



2022年4月28日

各 位

会社名 株式会社メルカリ
代表者名 代表取締役 CEO 山田 進太郎
(コード番号：4385 東証グロース)
問合せ先 上級執行役員 SVP of Corporate 横田 淳
TEL. 03-6804-6907

**通期業績予想(連結業績・個別業績)及び
個別業績における特別損失の計上に関するお知らせ**

2022年6月期の通期業績予想について公表しておりませんでした。このたび、2022年6月期通期の業績予想の算定が可能となり、また、前期実績に比して開示が求められる差異が生じたので、お知らせいたします。
また、2022年6月期第3四半期の個別業績において、特別損失を計上することとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

1. 2022年6月期通期連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前期実績 (2021年6月期)	百万円 106,115	百万円 5,184	百万円 4,975	百万円 5,720
今回発表予想	147,000	△4,500	△4,600	△8,600
増減額	+40,885	△9,684	△9,575	△14,320
増減率(%)	+38.5%	-	-	-

(1) 連結業績の通期見通し

連結売上高は、メルカリ US の収益認識の会計方針変更の影響に加え、メルカリ JP の安定的かつ持続的な成長、メルペイの与信事業を中心とした収益力の強化によって、前期比で売上高が増加する見通しです。

連結営業利益及び連結経常利益は、メルペイにおいて収益力が向上したことによって増加した一方、メルカリ JP やメルカリ US、新規事業において将来利益の最大化に向けてブランド認知度向上・ユーザ獲得等を目的としたマーケティング施策に加え、事業基盤の強化に向けた優秀な人材採用等の投資を積極的に行った結果、赤字となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記に加えて、主にメルカリ JP における法人税の影響によって、赤字となる見通しです。

2. 2022年6月期通期個別業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前期実績 (2021年6月期)	百万円 75,152	百万円 15,675	百万円 15,426	百万円 7,926
今回発表予想	85,900	11,700	11,700	△5,600
増減額	+10,748	△3,975	△3,726	△13,526
増減率(%)	+14.3%	-	-	-

(1) 単体業績の通期見通し

単体売上高は、主に新規ユーザ獲得及び出品強化施策によって前期比で売上高が増加する見通しです。

単体営業利益及び経常利益については、中長期の成長に向けて、主に新規ユーザ獲得や出品強化等の広告宣伝を積極的に実施した結果、前期比で利益が減少する見通しです。

単体当期純利益については、上記に加え、主に、下記3の「個別業績における特別損失の計上」の通り、当社が保有する関係会社株式の減損処理により、関係会社株式評価損9,928百万円を特別損失として計上するため、赤字となる見通しです。なお、上記の特別損失は、連結決算上消去されるため、連結業績への影響はありません。

*上記の単体業績にはC2C以外の取引にかかる売上高やコストが一部含まれております。

3. 個別業績における特別損失の計上

(1) 特別損失の内容、発生の理由

当社が保有する関係会社株式について減損処理を実施し、2022年6月期第3四半期の個別業績において、関係会社株式評価損9,928百万円（うち米国子会社であるMercari, Incにおいて9,063百万円）を特別損失として計上いたしました。

(2) 業績への影響

本特別損失は、上記の「2. 2022年6月期通期個別業績予想」に織り込んでおります。なお、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上